

# 舞踊における‘即興’の「三発現域」 ～「演舞時即興」をめぐる～

長谷川 敬子

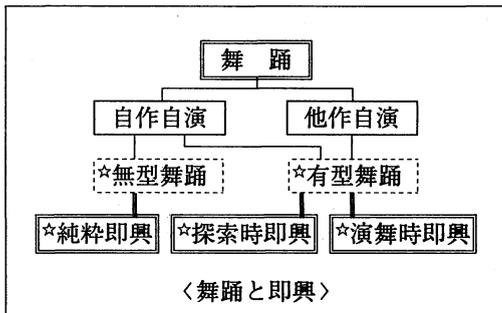
## 【はじめに】

18年の小学校教師経験から、踊りに没頭する子供の‘即興’の姿には、自己教育力の原点が見えると確信するようになった。

本研究は、舞踊における‘即興’の教育的意義を探る初段階として、‘即興’の発現域を明らかにしようとするものである。

## 【舞踊と即興】

あらゆる舞踊は、‘即興’を基盤に成り立つが、その関係は下記のように図式化できる。



(☆は研究者の命名による)

まず、舞踊は、自作自演と他作自演に二分でき、さらに「無型舞踊」「有型舞踊」に二分できる。

「無型舞踊」は、演舞者が動きの型を前提にしない、従って再演不能な唯一無二の舞踊で、自作自演に限られる。「有型舞踊」は、演舞者が動きの型に基づく再演可能な舞踊である。他作自演の作品はこれにあたるが、自作自演の作品も、再演可能であれば「有型舞踊」である。

作舞・演舞の近接状況を‘即興’と定義する。

舞踊において‘即興’は三つの発現域をもち、それらを「純粹即興」「探索時即興」「演舞時即興」と命名して、議論を進める。

次にその論拠を明らかにする。

## 【即興の三つの発現域】

### 1. 「純粹即興」と「探索時即興」

一般的に即興舞踊と呼ばれるのが「純粹即興」である。これは、作舞と演舞が同時展開の場で、「無型舞踊」を発現域とする。

これに対し、「有型舞踊」の作品形成を目指す探索のための作舞・演舞状態を「探索時即興」と呼び、作品定着までの制作過程における作舞・演舞の交錯状態を指す。

これら二つの‘即興’は、それ自体が作品であるか、作品を目指す経緯であるかの違いはあるが、

いずれも作舞と演舞の近接状況であり、演舞者が演舞のための動きの型を前提にしない‘即興’である。

### 2. 「演舞時即興」

作舞の到達点での成果である「有型舞踊」の演舞時を発現域とするのが、「演舞時即興」である。

さらに詳しく発現域を探ると、舞踊作品の二層構造が見えてくる。

S. J. コーエンの言う“constitutive properties”と“contingent properties”であり、それらは、舞踊の同一性を保持しようとする層、すなわち「不変の層」と、同じ作品であっても演舞の度毎に新しい独自性を生む層、すなわち「変化する層」である。

これは、サーリッジとアーミラゴスの言うスタイル1とスタイル2に各々対応する。

「変化する層」＝スタイル2は、「有型舞踊」の演舞時において、作舞者にも予想できない、演舞者が決定する演舞者独自の世界であり、「演舞時即興」の発現域である。

「演舞時即興」は、‘即興’が、演舞者の身体、存在、個そのものが現われる場であることを浮き彫りにする。マーゴリスの言う「生のままの表現性」の現われる場である。

## 【まとめ】

‘即興’は、作舞・演舞の近接状況であり、その瞬間、その場のその演舞者による動きの決定と実行である。発現域ごとに、「純粹即興」「探索時即興」「演舞時即興」の三つの‘即興’が特定できる。中でも「演舞時即興」は舞踊作品の「変化する層」を発現域とし、演舞者の身体の表現性がそのまま現われる。

自発性に裏付けられ、自己選択、自己決定、そして実行を瞬時に行うのが‘即興’である。このような個性と創造性の宝庫である‘即興’に、自己開発、自己実現としての教育的可能性を展望できる。

## 【今後の課題】

「純粹即興」「探索時即興」の特質をさらに明確にし、‘即興’の教育的意義を検討したい。

## 主要参考文献

1. Lynne Anne Blom and L. Tarin Chaplin, The Moment of Movement – Dance Improvisation University of Pittsburgh Press, 1988.
2. 尼ヶ崎紀久子, 「舞踊に於ける作品概念 – Anderson, Margolis, Cohenを中心に」『舞踊学』第9号別冊, 1986.
3. Selma Jeanne Cohen, Next Week, Swan Lake – Reflection on Dance and Dances Wesleyan University Press, 1982.
4. Mary Sirridge and Adina Armeragos, “The In’s and Out’s of Dance : Expression as an Aspect of Style” JAAC, 1977.
5. Joseph Margolis, “The Autographic Nature of the Dance” JAAC, 1981.